

会場から寄せられたご意見

氏名 織田尚也

(年齢 40歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

今後多く日本が核立団として登場していく
上からも、される事の開発と共に深刻な社会
してゆくべき。多くの際には政治や経済でも
技術の未習性とコスト割合には配慮を。

(ご意見記入欄)

・反対は至る要件のア、あるいは何か開拓せんばつ
種子をもと育てます。

技術開発を進めて、日本の成長の源である。

・他の国々やヨーロッパ、オーストラリアなどとの競争には注目。
決定的な力をもつて世界を掌握していく。

会社

・TAFEを「投げ戻す」方針へ。

内閣の多いが、日本の現状では外から見てとても不思議な状況であるが、
日本はまだまだ、金を出し、それをもとに多くの企業が成長している。

・原水力は、アラブイエス。そしてテネリコ等にかかる原水力
が反対する場合が多い。2015年3月。

・石炭工場の場合は、著しい人の犠牲の意見で、大変向かう。
参加した甲斐がありましたが。

氏名

卷之三

（年龄

三

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

- (意見記入欄)

 - 既に研究を始めたのは (10~20年 ~~も~~ ^で から)ヨーロッパでも、固に本でなく、再処理(なんび)併成り方の方法を盛載しつつある。経済性もその方がいいという記事をよくみかける。
~~また~~ 又 地下区分とはいうが 陰神大陸とい
てもわかるように 地下も又書きつつある。
再処理(なんび) 地上で管理するか 今
どう ベストと思ふ
 - これ以上 廃棄物を生さないことを 断然に
しないと 対応できなくなる。 何事やからとも、
原発は やめないと
 - 費用は、① 実力会社、消費者が 出すしか
ないが、それも、~~また~~ 原発をやめて、という
前提がないと、いつもも お金を使つづけ
体にはない。

氏名 入江正三

(年齢 48歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

地下研究時代、聴そへための議論にも必要
な干一歩を取得出すとためめあへてある方
早速に香手すべきてみる。なしくすしに多く
場にちうとへ心配がんじらひ、時限とせよ。
の意見

(ご意見記入欄)

とにかく、一步踏み出すことが大切だ。
外国でこれをやる?

氏名 太田 幸

(年齢 24歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

技術的レベルでの地層処理の安全性について
はどういう基準で上回るとしていい子のが
厚手力発電そのものを継続するのが安定した
電力供給の唯一の方針なのかな。

(ご意見記入欄)

上記の回答についてよく分かりません。

なぜかはどういう理由で地層処理にしたんでしょう。

そういうことを発表するのが情報公開だと思うのですが、

ここで説明しくやるとうれしいです。

以上。

·姓 名

諸子正義

(年齢 49 歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

(ご意見記入欄)

近藤次郎氏、「国民嗜好」(H9/8)
の文章中、18-20行、下から16行目附近
「高須中子の運動エネルギーをもつておる」
が誤り。正確なのは「高須中子の運動エネルギーをもつておる」
「高須中子の運動エネルギーをもつておる」
「高須中子の運動エネルギーをもつておる」

氏名 沢村 和世

(年齢 ム/歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

報告(案)に御令旨に意見を述べることでござな
い。なぜなら、提案された“姿勢”について
疑義があるから。

(ご意見記入欄)

厚発が「トイレのないマンション」と言われつづけて来て
理由は、この、廃棄物の問題があつた。

~~しかし~~ 國々電力会社は、とにかく、反対意見を押さえ
つけて原能建設一途に走ってきた。

今はまだ「反対意見をうかがう」と、言われても素直に
協力してくれたら大にせむ。

“うそ”これが廃棄物を出さない、という方針だと
すると、洋地廃処理以外の事を求めすこと
などなかろう。

④ このまいくと、又今地の人々は、「もう、反対派
・人々の意見もきいた上で、『国民的合意』
で可かにいう根柢に頼らざるを得ないが、
(こうした会が)と、想ふる。

厚発

氏名

佐野 重雄

(年齢 61歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

公算会員としての感想があつたが、今後は絶対にあり、原発推進派をあつめようなどと意見はございません。会の会員として参加して3回目の2年。

(ご意見記入欄)

20%

氏名 豊島好輝

(年齢 22歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

1) 銀 庫 番 疾 業 地 送 費 表 ⇒ 日 本 土 地 カ ラ 消 去 法
2) 年 算 ⇒ 放 融 合 の 連 手 事 を 利 用
3) 領 报 へ 亂 法 ⇒ 尿 子 カ レ 不 利 な 領 报 を 提 供
4) 尿 子 カ レ 教 育 ⇒ 大 帯 の カ リ ト ラ ム 变 便

(ご意見記入欄)

① 災害場の保護地選定について

大前謙： 日本においてゴミは必ず災害物

じうあが： まず避難生を保護地とするとして、

北東、木本、加賀、三宅、東北福島などの被災地における被災地としていたより、被災した所と本州第一被災地とする。

② 施策について

大前謙： 本規ナホーに随一の森林資源利用の問題をもつて、既存の方法で危機的状況化を防ぐ方法を示す。

③ 領報保護法について

大前謙： 既存の法律の方法を領報保護法に適用する
つり、未だ、技術上、十分な実験である。じうあが： まず、効率化のため、中間地帯の耕作地や、半農半牧地帯や、過去の半耕半牧地帯の開拓地等、内蔵である花園などはそれを基盤的に有す、
その上で、それらの中間地帯は耕作地に有れて、かつ、効率的な利用を→ 既存、既報技術で、既存の災害地は、既に防げてある。それで
上に立して、もう1種類を、うしの日ゴーレン71ム幹を流して、
一般の人間に教える。（カエズーヒヤル航行）

④ 尿子カレ教育

今の大半の教育制度では、既存の教育計画、大人の教育計画の問題を押さえ
していくには力ない。なぜなら、自身の発展にあらず、他人がやくよがり。
其の教育をやめても、かういうふれを失はせると困ります。

兵 名

西漢

(年齢 50 歳)

(摘要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

(二)意見記入欄

意見交換会の二つ目の評価と議論は、以下に
まとめ発表させて貰う。

氏名

卷之三

(年齢 40 歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

(ご意見記入欄)

トヨタの高レベル放射性大廃物処分状況について(案)(PS35頁)
には、「2008年1月分を開始する予定である」とあります。
ミヒャエル・ガーラー氏(ドイツ応用環境科学研究所)は福井県での
講演で、「アマレバニ高レベル大廃物最終処分場は
2008年に稼働する」と日本へ(10月7日)書かれていますと知り
驚いたところです。實際は調査を2008年以降終え、建設の予定
は現在もございません。建設に15年かかるうえに、たと
えば2023年にいかが稼働できません。反対運動も途絶
して、部分建設は困難とされています。土地所有者の
2002年2月高レベル放射性大廃物の処分方法は困難であることを
示しています。

高いものの、地区別の決算は時期早々であり、後世代に負担を残すなど、この点が大きな問題となる。今後は、原発の益を享受する世代からの費用負担を減らすことが肝要である。

氏名 松永光

(年齢 32歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

立地地域の住民に理解しづらいたくための活動を誠実と金をかけて行う。
より100%に近い安全に向けて技術開発による金をかける(技術的確立へ早く到達するため)。

(ご意見記入欄)

「原子力は必要だう」と理解出来るが、しかし「自分の住む庭先に放射能関係設備ができるのは、イヤである」と思うのが一般的住民の考え方かと思う。

これを 独自日本で庭先でも理解して立地が可能になるためには、努力する。

努力とは、・お金をする(技術開発、設備)

・誠実に対応(立地地域への)

・技術的確立

・情報公開(マスメディアへの有効利用)

等

以上

氏名

川上 鮎之助

(年齢 38 歳)

(概要記入欄) 80字以内でご記入下さい。

私は川崎市内に10年近く住んでおり、周辺の環境には満足です。オル一ル、明確化を修整し、確立されないと心地が良さない。また、社会から自分自身の立場と責任を自覚することができています。

(ご意見記入欄)

- ①高濃度核燃料の貯蔵は運営をめぐる社会的・信用・信頼の基盤が不安定化を意味します。最近、食品や生活必需品、エネルギー供給の問題から、これら「信用・信頼崩壊」現象が蔓延する中で、核燃料もその課題に思えます。~~また~~ 今後は、「信用・信頼」が得られない状況では、政治家は政治家、有識者、一般国民など多くの人々が信頼する立場で行動する中で、これがまた問題です。現状は、政治家が選出される度に信頼が失墜する形で、政治家も選出されず、政治家・政治家の立場で機会的富摩を導き運営が流れています。市民活動も代議院議員と直接話をかけずといふ状況です。国民大統領選出の中止は自己保護の立場で自粛し、貴経営上発言・行動で出来たことは実行したことを認めていたりする等、これまでの経験・操作を教訓として取扱う所が多かったが、今までには変わらぬあり方を取るに留まらず、貴経営としての立場で、現状外を踏まえて行動していくべきであると感じます。
- ②高いレベル放射性廃棄物は時代錯誤であると感じる事ができます。十年~百年が管理するには、何が問題となるかはまだよく分かっていないが、資源・資源・資源の問題が浮上して、数百年から千年の管理期間がかかる問題、そして、資源枯渇による影響が現れる問題等が浮上してきます。

高レベル放射性廃棄物処分への今後の取組みに関する意見交換会（第5回 福岡／平成10年1月14日）

- ①資源枯渇の問題、廃棄物、財政を「厚意」と答えて、ひどい状況で「厚意」のままではあります。資源枯渇の問題、財政の問題、資源枯渇の問題を解決するための資源の使い方を検討する必要があります。